

御宿

No.500

2005.平成17年

新春号

謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに
町民の皆様が健やかで心豊かな一年と
なりますことをお祈りいたします



昨年、月の沙漠記念館で企画展を
開催した大隈武夫氏の作品

年頭所感

自然と共生した夢多き町づくり



御宿町長 井上七郎

努めてまいります。

昨年は、自然災害が多発しました。これらを教訓に災害対策として行政、消防団、自主防災会や関係機関と防災会議を開催し住民一人ひとりが安全に暮らせる施策を実施します。

観光振興としましては、天候にかかわらずとも一定の集客力が望める参加体験型観光が主流になると考えます。今後は量より質への転換を図り、さらに御宿らしい工夫を凝らした通年型事業の充実・展開を、各方面のメディアを有効利用しながら図ってまいります。

漁業振興につきましては、岩和田漁港防波堤整備及び消波ブロックの嵩上げ、漁港の浚渫を予定しております。農林業につきましては、農業基盤整備を目的とした中山間総合整備事業に重点を置き、積極的に取り組んでまいります。

町では町民の皆様の幸せのため、様々な施策や事業を計画しています。しかしながら、基幹収入

きた内容を踏まえ、町民の皆様のご意見を伺いながら、議会とともに慎重に協議を進め、御宿町の進むべき方向を考えてまいりたいと思います。

次に教育の分野ですが、中学校校舎の改築事業が昨年十月に着工しました。十七年度は共同調理場の建設も予定しております。校舎棟と共同調理場につきましては、平成十七年十二月に同時完成できるよう工事を進めてまいります。

次に保健福祉の分野では、高齢者の生きがい対策支援事業等を十分機能させ、介護保険制度と合わせ様々な高齢者福祉事業を展開するとともに、障害者支援事業についても充実させてまいります。また、少子化対策の充実を図るため次世代育成支援対策を推進してまいります。

次に生活環境の整備ではゴミの減量対策助成や、分別収集の徹底、リサイクルによ

り三〇〇トンもの減量とダイオキシンの基準値も大幅に下回りました。今後も粗大ゴミの回収やリサイクルを推進し生活環境の整備に努めます。

また、将来の町のあるべき姿を展望し、御宿町都市計画が昨年九月七日に施行されました。都市計画では生活環境問題について共通のルールづくりを行うとともに、緑豊かな美しい自然環境を維持保全してまいります。今後は、都市基盤となる道路、下水道、駅前広場等を計画的に整備し、災害に強い誰もが住みよい豊かな町づくりを推進してまいります。

特に、道路等の整備については、暮らしやすい環境作りを基本に早急に各種工事を進めるとともに、県道や県道バイパス等の整備促進も図ってまいります。また、水道水の水質改善につきましても、昨年同様、水道管の洗浄作業を行い、安全で安定した給水に

皆様、新年明けましておめでとございます。輝かしい平成十七年の新春を、町民の皆様とともに迎えることができましたことを、心からお慶び申し上げます。

このたび、皆様方のご理解をいただき、引き続き二期目の御宿町政を身の引き締まる思いとともに担当させていただきましたこととなりました。本年も、初心を忘れず町民の皆様と同じ目線に立ち、町民の皆様との対話による町づくりを念頭に置き、開かれた行政の推進に努めてまいります。

さて、二期目を迎えるにあたりまして、まず何と言つても、今後課題となりますのは

市町村合併ではないでしょうか。夷隅郡五町の合併協議は白紙となり、当面はそれぞれの町が原点に立ち返り地域を見つめなおし、町づくりを推進しなければならぬと考えます。しかしながら合併は、町の将来を左右する大変重要な問題であり、避けて通ることはできない課題であります。今後、平成十七年から二十一年までの五年間の時限立法のなかで、今まで検討して



合併問題

合併問題については昨年、いろいろな角度から議論しておりましたが、結果として五町の話は白紙となりました。しかし、この問題は、町民の皆様には直接影響する非常に重要な問題であります。これ

位一体の改革により国・県補助金の削減、国から地方への税源移譲、地方交付税の見直しを行うと明言してまいります。そのなかで、これからますます地方分権による地域の特性を生かした行政サービスの展開されるようになります。井上町長におかれましては、これらの動向に機敏に反応し、行財政運営をさ

接近により、御宿町においても大きな被害を受けました。今後もこのような災害に対し、さらなる対応策を講じるよう活動を行ってまいります。

中学校建設

長年の課題であった御宿中学校校舎の改築工事が、昨年十月から始まりました。中学生のためにも早期完成を目指してもらいたいと考えます。

よりよい町づくりを目指し 積極的な活動を行います

新年あけましておめでとございます。平成十七年の新春を迎え、御宿町議会を代表して心よりお慶び申し上げます。

皆様方には、日ごろより、議会運営、町政運営に御理解と御協力を賜り、深く感謝とお礼を申し上げます。

私も議会は、住民を代表して、住民福祉の向上と地域の発展に貢献することを使命としており、皆様方の日常生活に直接結びつく政策課題等について論議し、議員一同、積極的な議会活動を行っております。

まで積み上げてきた資料や内容を生かし、今後も町議会としても積極的な情報提供に努めるとともに、皆様方からの貴重な御意見を伺いながら、行政と議会、地域住民が一体となって、今後の御宿町のあり方について、慎重に進めてまいりたいと考えております。

町行財政運営

日本経済は、依然として低迷を続けており、国は三

らに向上させていたいただきたいと思えます。議会としても、調査、研究を行い、よりよい町づくりを目指します。

また、第四次御宿町行政改革大綱が現在作成されていますが、貴重な財源の中で住民サービスの質の向上を目指すために、議会と行政が協働し行政運営を進めてまいります。

災害について

昨年は例年にならない台風の

まだまだ行政課題は山積しており、議会は果たすべき役割と責任を自覚し、皆様の御期待に添うよう、懸命な努力と創意工夫を重ねながら円滑な行政運営を支援してまいりたいと考えますので、温かい御支援、御鞭撻をお願い申し上げます。皆様方の益々の御健勝、御多幸をお祈りいたしまして、新春のあいさついたします。

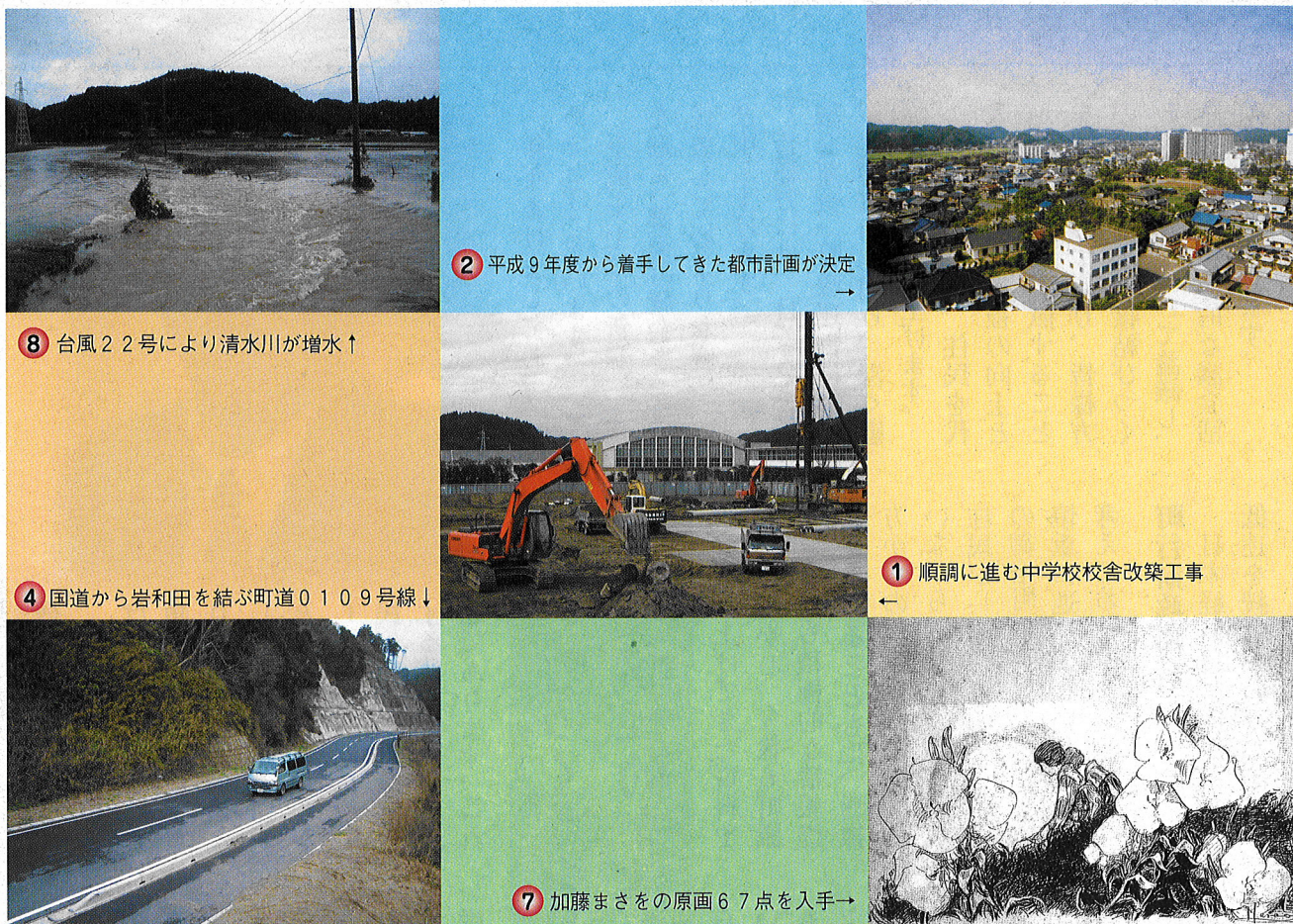
御宿町議会議長

伊藤 博明

であります町税が不況の影響を受け、大変厳しい状況にあります。直面している様々な政策課題に対応しながら、魅力ある町づくりを進めていくためには、健全財政の確保がなにより重要となっております。今後、効果的な財政運営の継続と第四次御宿町行政改革計画に基づき、町の置かれた現状を見据え財政事情を考慮することはもとより、自助努力による財源の発掘、既存政策の見直しなどによる効率的な行政運営を図っていく必要があります。

変化する社会情勢に柔軟に対応できる行政運営を図るため、職員一同、正確とスピーディーをモットーに全力をつくす所存でありますので、議会をはじめ町民の皆様との暖かい御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとりまして、希望に満ちた幸せ多し年となりますよう御祈念申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。



平成16年御宿町 **10大** ニュース

- 1 御宿中学校 校舎改築工事に着手 (10月)
- 2 御宿町都市計画決定 (9月)
- 3 御宿町長選挙が行われ、井上町長が再選される (12月)
- 4 町道0109号線(岩和田～小池地先)が開通 (4月)
- 5 個人情報保護条例を制定 (9月)
- 6 夷隅郡合併推進協議会が解散 (6月)
- 7 加藤まさを氏の挿入絵原画が発見される。
また、月の沙漠記念館 入館50万人を突破 (4月)
- 8 記録的な猛暑や台風22号上陸などの異常気象。
(10月8～9日にかけて、69mm/hの大雨に見舞われ、
死亡者1名、住宅床下浸水6件など、町内各所に被害。
海岸流木の除去作業を行う) (10月)
- 9 各小学校でミヤコタナゴの飼育を開始 (10月)
- 10 春日神社本殿が全焼 (1月)